



首相も、自分の頭で考えていない？

日野自動車はエンジンの排ガス認証試験の検査不正で、トラック販売停止となった。

日野は「法規の理解不足で、二回必要な測定を一回で済ませた」と検査部門のミスと云うが、本当か？

どの会社の検査部門も国の法規を熟読して検査手順を決める。法規を読み間違える筈はないし、検査結果を書き換える筈がない。

もしかしたら「検査ごまかし」を日野の上層部が指示。それがバレそうになり、慌てて「検査部門のミス」として記者会見したのかも。

でも、どうして日野の担当者は「こんな不正は出来ない」と云わなかったのだろうか？

の根はとても深い。戦前は教育勅語をまじる覚えするだけ。社会科を考えよう。頼朝の鎌倉幕府開設の年などスマホで分かる時代。何年の事と覚えるのは無意味だが、未だに暗記が要求される。「何年の事」より、どうして武士の頼朝が政権を握ったか、生徒自らが考えを述べ、歴史の流れを議論する授業が重要だろう。

自分の頭で考えない

上から云われたら何も考えないで従う。それも考えないで従う。それは、あなたはどう思われますか？

岸田首相もその一人？

コロナの流行状況、医療機関の現状を見ているのか？データ入力が大変と云われて各県に緩和を任せるだけ。

統一教会問題では、統一教会べったりの安部派を慮るだけでは？

藻玉（もだま）

沖縄県石垣市

バナナ公園

二〇二二年七月



石垣島の住人は「今年は特に暑い」と云う。暑さを避けようと、バナナ公園に出かけた。

南口から西口を経て北口に向かう散歩道は亜熱帯の緑陰。直射日光が遮られ、心地良い風が通る。

その道に、上の絵のように太い蔓がぐくぐくと垂れ下がっていた。この蔓の延びた上を見ると、木の梢に右の絵のように大きな莢があった。もだま（藻玉）と云うそうだ。この「もだま」は世界最大級のマメ科植物。

この莢は数十cmだったが、1mを超える物も珍しく無いそうだ。莢には直径5cm位の基石のような種子が入っている。この種子は海流により遠くの海岸に運ばれる。流れ着いた島では、「ラッキービーンズ」とも呼ばれると云う。

